

百済の古都、チュンチョンナムドコンジュシ 韓国忠清南道公州市・プヨグン 扶餘郡でセミナー開催！！

～2013 年度第 2 回韓国駐在地方公務員等連絡協議会兼クリアソウルセミナー～

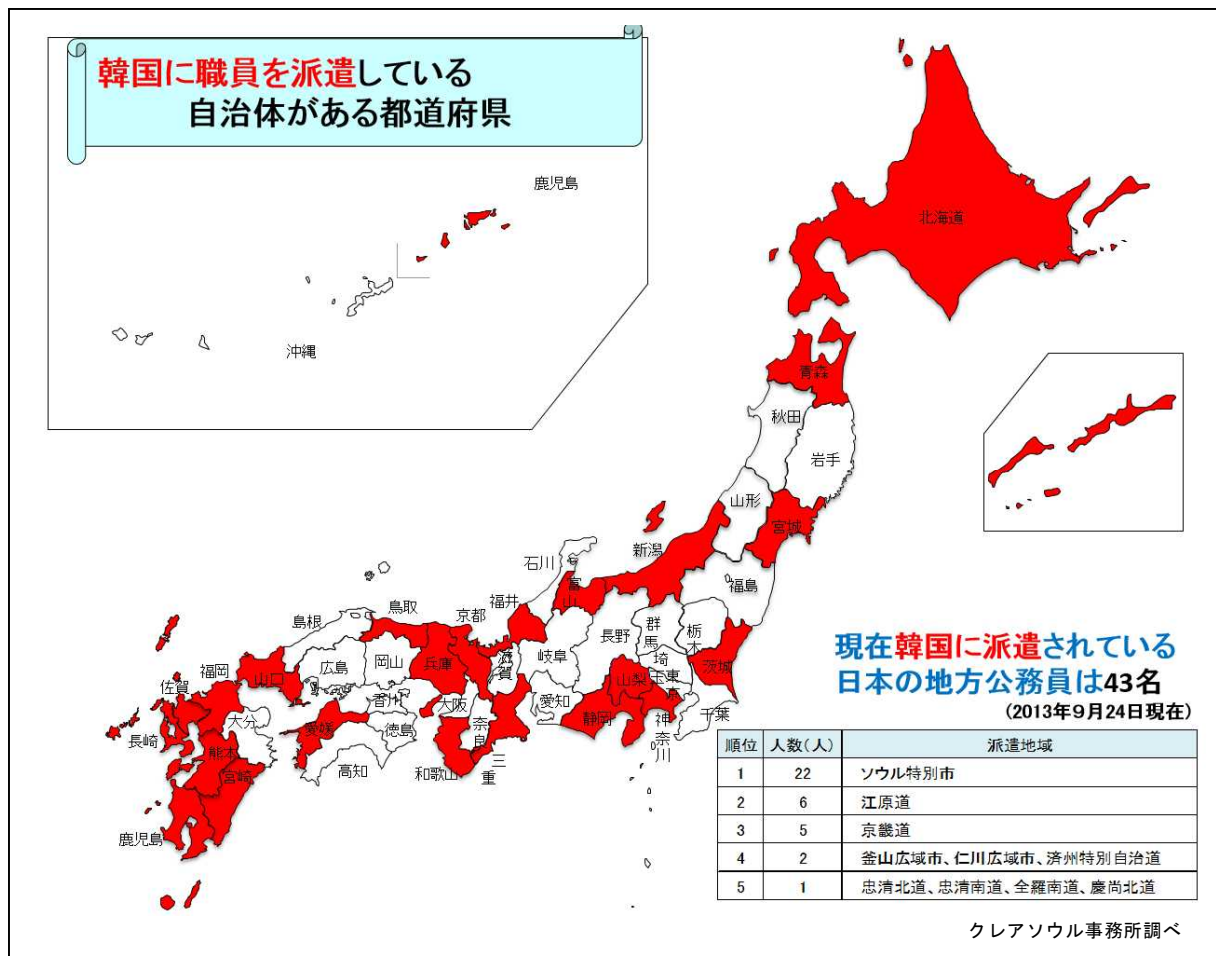
ソウル事務所

■今回のクリアソウルセミナーは？

クリアソウル事務所では、韓国に駐在されている日本の地方公務員や関係の皆様を対象として、日本と韓国との国際交流及び観光・経済・文化交流等の推進、会員の駐在活動の円滑化等を目的に、「韓国駐在地方公務員等連絡協議会<sup>1</sup>兼クリアソウルセミナー（以下、『クリアソウルセミナーまたはセミナー』）」を実施しています。

2013 年度第 2 回目のクリアソウルセミナーは、2013 年 9 月 12 日（木）～13 日（金）の日程で、「百済の古都、公州市と扶餘郡の観光政策と歴史遺産」をテーマに韓国忠清南道公州市と同道扶餘郡にて開催し、座学と現地視察を組み合わせ構成しました。

本レポートでは、協議会会員 24 名に出席いただいた今回クリアソウルセミナーの概要を紹介するとともに、当日の様子をお届けします。



<sup>1</sup> 「韓国駐在地方公務員等連絡協議会」・・・韓国に駐在している日本の地方公務員や関係者を対象に組織。事務局はクリアソウル事務所に設置しており、事務局長はクリアソウル事務所長。

## 忠清南道扶餘郡～1 日目～

### ■扶餘郡の概要

歴 史：百済の最後の都（百済時代の名称は泗<sup>サビ</sup>沘）

人 口：72,720 人（2013 年 8 月現在）

面 積：624.6 km<sup>2</sup>

行政区域：1 邑 15 面で構成

扶餘邑、窮岩面、恩山面、外山面、内山面、九竜面、鴻山面、玉山面、南面、忠化面、良化面、林川面、場岩面、世道面、石城面、草村面。

姉妹都市：奈良県明日香村、滋賀県日野町（恩山面との姉妹都市提携）、滋賀県東近江市（場岩面との姉妹都市提携）、福岡県太宰府市、宮崎県美郷町。

※日本の自治体との姉妹都市提携分を抜粋

※宮城県涌谷町（林川面との友好都市提携）

H P：<http://www.buyeo.go.kr/jap/html/main.html>（日本語版）

### ■「扶餘郡イ副郡守への表敬訪問」と「扶餘郡の概要及び観光政策の説明」

1 日目の最初は扶餘郡庁を訪問しました。扶餘郡庁では、イ・サンジュン副群守にあたたかく迎えていただき、「扶餘郡は、日本、中国、オランダの 8 つの地域と国際交流を行っており、今回の日本の地方公務員の皆様の訪問を歓迎する。『屋根のない博物館』といわれるこの扶餘郡で、たくさんのことを学んでほしい。」との歓迎のことばをいただきました。



扶餘郡イ・サンジュン副群守（左）への表敬訪問

引き続きに行われた扶餘郡の概要と観光政策に関する説明においては、扶餘郡文化観光課の担当者の方から、第 59 回百済文化祭<sup>2</sup>への取組や主要観光施設に関する概要説明等が行われました。

説明終了後、セミナー参加者からは、活発な質疑がなされ、下に記載のとおり大変参考となるご回答をいただきました。



扶餘郡の概要及び観光政策説明

<sup>2</sup> 百済文化祭・・・韓国三大文化祭りの一つで、百済の歴史と文化を知ることができる祭り。

### 扶餘郡文化観光課への質問に対する回答（抜粋）

- 日本からの観光客は、外国人観光客の中で最も多い。  
なお、韓国人を含めた観光客数は、年間約 500 万人である。
- 2012 年と比較すると、2013 年は、日本からの観光客が減少傾向にある。
- 日本からの誘客を図るため、日本の旅行会社と連携して誘客活動を展開しているところである。
- 以前は、宿泊の規模が小さく経由地型の観光地であったが、2010 年9月のロッテ扶餘リゾートの誕生により、滞在型の観光地に転換することができた。
- 観光客が集中する時期は、4～5月、9～10月である。
- 中国人観光客は増加傾向にあり、百済の古都である扶餘郡と公州市を1つのコースとして訪れている。
- 日本以外で力を入れて観光プロモーションを行っている国は中国である。

### ■扶餘郡の主要観光地及び観光施設の視察

今回は、時間の制約もあるため、「宮南池」、<sup>クンナムジ</sup>「扶蘇山城」、<sup>フソサンソン</sup>「国立扶餘博物館」、「百済歴史再現団地（百済歴史文化館）〔後述〕」を早足で視察しました。

「宮南池」は、韓国最初の人工庭園で、日本の飛鳥時代の庭園造形に影響を与えたと言われているとのことであり、「扶蘇山城」は、中国・日本との交易路の役割を果たした白馬江（白村江）に隣接し、百済時代は戦時の防御城として利用されたとのことでした。

「国立扶餘博物館」では、国宝3点（国宝第287号百済金銅大香炉、国宝第288号百済昌王銘石造舍利龕、国宝第293号金銅観音菩薩立像）を中心に視察しました。

セミナー参加者からは、「外国人観光客の観点から、日本語のパンフレットやMP3音声ガイドがある点は評価できるが、展示物にほぼ日本語の解説がなかったので、この点が改善されればなおよいのではないか。」との意見が出されました。



国立扶餘博物館の視察状況



韓国国宝第287号「百済金銅大香炉」

## ■百済歴史再現団地（百済歴史文化館）視察



百済歴史再現団地の模型  
(百済歴史文化館内)

続いて、同じく扶餘郡に所在する「百済歴史再現団地（百済歴史文化館）」を視察しました。この百済歴史再現団地は、百済の歴史と文化を世界に広めようと、1994 年から 2010 年までの 17 年間をかけて、約 327 万㎡の敷地に約 6,904 億ウォンを投資して建設されたものです。

敷地内には、百済王宮を再現した「泗泚宮」<sup>サピ</sup>や当時の階級ごとの生活文化を展示する「生活文化村」、百済の歴史と文化を展示した「百

済歴史文化館」など多種多様な施設があり、隣接するロッテ扶餘リゾートとともに、滞在型観光地の名所となっているとのこと。

また、2013 年 9 月には、アウトレットモールも誕生し、滞在型観光の魅力を強化しているところであるとのことであり、百済歴史再現団地と隣接するリゾート施設で、扶餘郡の観光中心地となっている様相が伺えました。

## ■財団法人百済文化祭推進委員会崔委員長への表敬訪問



百済文化祭推進委員会崔錫源委員長への表敬訪問

百済歴史再現団地の視察後、敷地内に所在する百済文化祭推進委員会を訪問し、崔錫源<sup>チェ・ソクワン</sup>委員長を表敬訪問しました。

崔委員長は、2013 年 9 月 28 日（土）から 10 月 6 日（日）に開催される「第 59 回百済文化祭」の準備でご多忙の中にも関わらず、セミナー参加者一人一人に声をかけられ、大変丁寧にご対応いただきました。



百済の宮殿「泗泚宮（再現）」前にて

百済文化祭に係る経費については、忠清南道が 50%、公州市が 25%、扶餘郡が 25% の負担割合で、3自治体の職員も同委員会に多く派遣されており、関係自治体が協力・連携しながら事業を推進しているとのことでした。また、例年百済文化祭には、約 150 万人の観光客が来訪し、外国人観光客では日本人が最も多く訪問するため、日本人観光客誘致に重点的に注力しているとのことでした。

## 忠清南道公州市～2日目～

### ■公州市の概要

歴史：百済の都（百済時代の名称は熊津<sup>うんじん</sup>）  
人口：118,438 人（2013 年 8 月現在）  
面積：864.29 km<sup>2</sup>

行政区域：1 邑 9 面 6 洞で構成。

維鳩邑、利仁面、灘川面、鷄竜面、反浦面、儀堂面、正安面、牛城面、  
寺谷面、新豊面、中学洞、熊津洞、金鶴洞、玉龍洞、新官洞、月松洞。

姉妹都市：滋賀県守山市、山口県山口市、熊本県和水町<sup>なごみまち</sup>

※日本の自治体との姉妹都市提携分を抜粋

H P : <http://www.gongju.go.kr/japanese.do> （日本語版）

### ■公州市直営「公州韓屋村」<sup>コンジュハノクマウル</sup> 宿泊及び視察

今回のセミナーでは、公州市が直接運営している「公州韓屋村」に宿泊しました。

「公州韓屋村」は、2010 年 9 月に開業し、約 3 万 1 千 m<sup>2</sup> の敷地に、団体宿泊棟（6 棟 37 室）と個別宿泊棟（10 棟 20 室）、屋外炊事場、食堂、売店等の付帯施設を備え付けています。また、韓屋村の建材には、日本の宮崎県の木材が使用されており、公州市ではその品質を高く評価しているとのことでした。

2 日目の早朝は、公州韓屋村の職員の方に、同韓屋村建設の背景や概要についてご説明いただくとともに、クリアソウル事務所に宮崎県から派遣されている日高所長補佐から、宮崎県産材の使用箇所や当該木材の特徴などについて説明させていただきました。

また、宿泊当日は、木曜日～金曜日と平日にも関わらず満室とのことであり、運営状況の堅調さも伺えました。



市営「公州韓屋村」視察



市営「公州韓屋村」の宿泊棟の例  
(公州韓屋村公式ウェブサイトより)

## ■ 国立公州博物館の視察



国立公州博物館視察（中央は解説員）

国立公州博物館には、「金製冠飾」など国宝 19 点、宝物 4 点含む約 2 万点の文化財が保管されています。

同博物館では、88 歳になられる日本語が非常に堪能な解説員の方から、大変熱心かつ簡潔明瞭に説明いただき、セミナー参加者の注目を集めていました。短い時間での視察でしたが、同博物館の魅力が存分に伝わってくる説明が大変印象的でした。

## ■ 「公州市李市長への表敬訪問」と「公州市の概要及び観光政策の説明」

続いて、公州市庁を訪問しました。公州市庁においても、第 59 回百済文化祭を目前に控え大変お忙しい中、李峻遠<sup>イ・ジュン</sup>市長にあたたかい歓迎を受け、「古くから日本と深い繋がりがある百済の古都、公州市を訪問いただいたことを感謝するとともに、この機会に公州市の観光政策と観光施設の多くを学んでいただきたい。また、日本と韓国とのさらなる交流の契機となればと考える。」とのことばをいただきました。



公州市李峻遠市長（左）への表敬訪問

公州市の概要と観光政策の説明については、公州市の観光政策を総括する立場にある李泰默<sup>イ・テムク</sup>市民局長から、大変分かりやすく詳細な説明をいただきました。



公州市の概要及び観光政策の説明

公州市の年間観光客数は、約 510 万人に上り、この内、外国人観光客は、約 4 万 7 千人（内日本人観光客は約 3 万 6 千人）とのことでした。扶餘郡とともに日本人観光客が外国人観光客に占める割合の高さに大きな特徴があることが分かりました。



公州市庁舎前にて

このほかセミナー参加者から公州市への質疑に対する回答などは次のとおりです。

### 公州市市民局長への質問に対する回答等（抜粋）

○2013 年の文化観光予算は、約 340 億ウォン。

○体験型観光施設として公州市が直接「公州韓屋村」を建設した。

建設予算は、約 200 億ウォンを投入し、建材に宮崎県の木材を使用している。建設当初は、ホテル等の大規模宿泊施設がない地域であったため、民間旅館業者等からの反発がものすごかったが、繰り返し公州市直接運営の宿泊施設の必要性を訴えることで、最終的には納得していただいた。

2012 年には、約 5 万 6 千人が宿泊し、公州市への経済波及効果は高いと考えている。また、週末はほぼ 100% の宿泊率を維持している。

○百済文化祭については、忠清南道、公州市、扶餘郡と 3 つの自治体が関係している関係上、難しい面もあるが、百済文化祭推進委員会を通じて解決している。

### ■公州市の主要観光地及び観光施設の視察

公州市では、前述の「公州韓屋村」、「国立公州博物館」のほかに、「公山城」、「武寧<sup>コンサンソン</sup>王陵<sup>ムリョン</sup>（武寧王陵模型館）」を視察しました。

「公山城」は百済時代の山城で、百済文化祭の会場ともなるとのことでした。また、「武寧王陵」については、日本の佐賀県にある加唐島<sup>カカラシマ</sup>で生まれたとされている『武寧王』のお墓であり、隣接する武寧王陵模型館で、その歴史と構造等を学ぶことができます。

公州市と佐賀県唐津市とは、公州市所在の民間団体である「武寧王国際ネットワーク協議会」を中心に相互に訪問するなど、活発な交流が行われています。

また、今回のセミナー実施に際しては、同協議会との交流会等、同協議会所属の国立公州大学<sup>ユン・ヨンヒョフ</sup>尹龍嬾教授にご尽力いただき、充実したセミナーを行うことができました。



武寧王陵を視察する韓国の小学生たち



武寧王陵模型館内部

(韓国観光公社公式ウェブサイトより)

## ■百済の古都、公州市と扶餘郡でセミナーを開催して

今回のクレアソウルセミナーは、「百済の古都、公州市と扶餘郡の観光政策と歴史遺産」をテーマに開催させていただきましたが、韓国において最も日本とゆかりの深い地域の内の一つである百済の古都で開催させていただくことで、大変多くのことを学ぶことができました。

また、セミナー終了後の参加者アンケートの結果では、「韓国の一地方自治体の観光政策とその現場を学ぶことができた。」、「地方自治体が連携して行う観光施策を学ぶよい機会だった。」、「武寧王国際ネットワーク協議会という地元の皆さんとの交流を通じて日本と百済との強い繋がりを感じることができた。」、「観光施設における解説員がいかに重要であるかを痛感した。」等の声が聞かれ、今回のセミナーが参加者の皆様に少なからず今後の国際業務の参考となったものと感じています。

クレアソウル事務所では、韓国に駐在する地方公務員の皆様に、少しでも役立つ情報や機会を提供していくことができるよう、引き続き努力してまいります。

(坂庭所長補佐 長崎県派遣)

